

その27 藤阪

(平成10年11月1日号—第197号)

藤阪の名の由来は、藤の古木が坂道の傍らにあったことから「ふじさか」と呼ばれるようになったと伝えられています。そのため、明治になるまでは、「藤坂」と表記されていました。

藤阪地区は、旧村のたたずまいや田園風景が見られる一方、新興住宅街なども混在し、古くて新しい町の典型といえましょう。

その一部を点描すると、まず王仁[わに]公園には、テニスコートや運動広場、プール、相撲場などがあり、年間を通じて、スポーツを楽しむ多くの人々でにぎわっています。

その王仁公園の横には、旧田中家鋳物民俗資料館があります。この資料館は、枚方上之町で古くから鋳物業を営んでいた田中家の主屋と工場を移築復元したものです。主屋には民具・農具類が、工場には鋳物の歴史と技術についての展示があり、敷地内には復元された弥生時代の竪穴式住居もあります。



45 旧田中家鋳物民俗資料館(左)(藤阪天神町)

46 復元竪穴式住居(下)(同資料館)



また、藤阪東町には、伝王仁墓[でんわにはか]があります。王仁とは、4世紀に朝鮮半島から日本に渡来し、論語と千字文[せんじもん]を伝えたと言われる王仁博士のことです。先年までの伝王仁墓は荒れていましたが、「王仁塚の環境を守る会」の皆さんが韓国の国花ムクゲを植えるなどして環境整備に努力されたため、今では、韓国からの旅行者の観光コースにもなっています。

そのほか、王仁公園には、ふるさと農園ひらかたの郷や平和の像もあります。また、鴨鍋で知られる、おしゃれなエルサンティサンパレスひらかたも^{*1}建っています。

これらの施設は、JR藤阪駅から徒歩でも行ける観光スポットです。紅葉の美しい季節、秋の風情を探しに出かけられてはいかがでしょうか。

^{*1} 平成17年閉館。